

公開シンポジウム

# 文化・アートとの振興と 地域経済の活性化

いま、文化・アートが地域経済を活性化させる産業、クリエイティブ・インダストリーとして注目されています。阿波踊りをはじめ、モラエス、LEDアートフェスティバル、マチ★アソビ等々、数多くの文化・アートのイベントが展開される徳島。

後藤和子・文化経済学会々長を基調講演者に迎え、文化・アートを新しい産業として、大学の役割と一緒に考えます。

2/22 2013年  
金

日時 14:30~17:00  
(14:00受付開始)

会場 徳島大学総合科学部  
1号館301教室(裏面の地図参照)

## [プログラム]

14:30 開 会

14:40 **基調講演**  
**「クリエイティブ・インダストリー  
:文化・アートの振興と地域経済の活性化」**  
後藤 和子(埼玉大学教授・文化経済学会<日本>会長、裏面に紹介)



15:20 報告1 「マチ★アソビに関する一考察」

学生有志(地域経済論ゼミ)

15:35 報告2 「LED産業とLEDアートが共存するまち徳島を目指して」

田村 耕一(徳島経済研究所専務理事)

15:50 報告3 「地域文化振興の核となる大学づくり」

石川 榮作(徳島大学総合科学部長)

16:05 休 憩

16:15 パネルディスカッション(座長 平井 松午:徳島大学教授)

17:00 閉 会

参加費  
無料

[お問合せ] 徳島大学総合科学部(玉真之介研究室:Tel & Fax 088-656-7178)

主催: 徳島大学総合科学部創生プロジェクト研究「芸術・文化・スポーツを中心に置いた地域科学の構築」



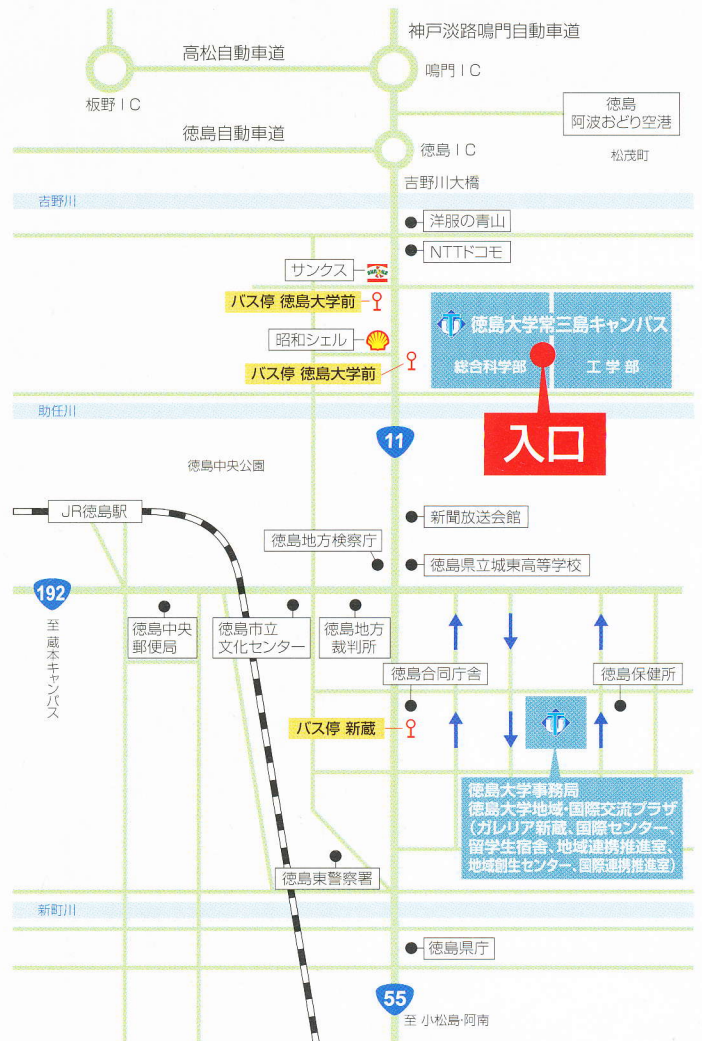
後藤 和子

埼玉大学経済学部・経済科学研究科教授、文化経済学会<日本>会長(2010年~2012年)、文化創造都市戦略はじめ、文化による地域経済再生研究の第一人者。京都大学理学部卒業、京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)

主な著書：

『芸術文化の公共政策』(勁草書房、1998年)、『文化と都市の公共政策:創造的産業と新しい都市政策の構想』(有斐閣、2005)、訳書にチャールズ・ランドリー『創造的都市』(日本評論社、2003)、A.クラマー『経済学は会話である:科学哲学・レトリック・ポストモダン』(日本経済評論社、2010年)など多数。徳島には馴染み深い農村舞台を対象とした研究もされている。

2013年春に、有斐閣から「クリエイティブ産業のインセンティブ設計(契約、著作権、税制)と都市空間」に関する単著を刊行予定。



参加申込み

公開シンポジウム宛 FAX送信先：088-656-7178

	(ふりがな) 氏名	住所	連絡先(TEL)
1			
2			
3			
4			
5			